

- 9:21 私は潔白だ。
しかし、私には自分自身がわからない。
私は自分のいのちをいう。
- 9:22 みな同じことだ。だから私は言う。
神は、潔白な者をも悪者をも
共に絶ち滅ぼされる。
- 9:23 にわか水が突然出て人を殺すと、
神は罪のない者の受ける試練をあざける。
- 9:24 地は悪者の手にゆだねられ、
神はそのさばきつかさらの顔をおおう。
もし、神がそうするのでなければ、
そうするのはだれか。
- 9:25 私の日々は飛脚よりも速い。
それは飛び去って、しあわせを見ない。
- 9:26 それは葦の舟のように通り過ぎ、
獲物に襲いかかるわしのように
通り過ぎる。
- 9:27 たとい「不平を忘れ、
憂うつな顔を捨てて、
明るくなりたい。」と私が言いまして、
- 9:28 私の受けたすべての苦痛を思うと、
私はおびえます。
私は知っています。
あなたは、私を罪のない者とは
してくだされません。
- 9:29 私はきっと、罪ある者とされましょう。
ではなぜ、私はいたずらに
労するのでしょうか。
- 9:30 たとい私が雪の水で身を洗っても、
灰汁で私の手をきよめても、
- 9:31 あなたは私を墓の穴に突き落とし、
私の着物は私を忌みきらいます。

- 9:32 神は私のように人間ではないから、
私は「さあ、さばきの座に
いっしょに行こう。」
と申し入れることはできない。
- 9:33 私たちふたりの上に
手を置く仲裁者が
私たちの間にはいない。
- 9:34 神がその杖を私から
取り去られるように。
その恐ろしさで私を
おびえさせないように。
- 9:35 そうすれば、私は語りかけ、
神を恐れまい。
いま私はそうではないからだ。

人として正しく、またクリスチャンとして精一杯生きて来たのに、自分だけ苦しい目にあってい
ると思うときもあります。「水」や「地」の災害
のように「潔白な者を絶ち滅ぼす神」と感じてし
まうでしょう。

ヨブはそんなときでも神にことば（信頼ではな
いですが）を向けています（27～）。さらには
仲裁者がいないと嘆きます。

しかし仲裁者はイエス様です。滅ぼされたよう
でも、十字架によって永遠のいのちが与えられま
す。ヨブへの答えは、人間の理屈を満たすような
ものではありません。その答えは十字架のイエス
様なのです。

どんな問題でも十字架に表されたイエス様の愛、
そして十字架によって勝利した神様の愛の力に
よって解決されるのです。そのことに期待し続け
ましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の
約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願い
など）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのど
の部分の主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

